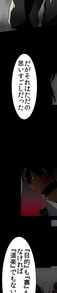
NANBAKA

第35話 無欲と未完成



欲

そう『欲』だ
お前には全くと言っていいほど欲がない

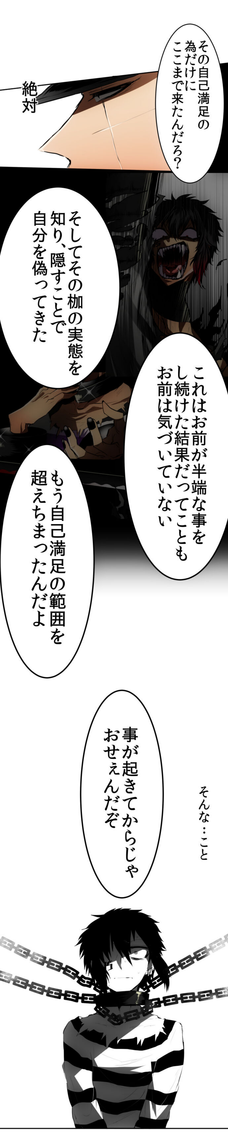
634番の話を聞いてさらに明確になった
お前があの話の本当の意味をわかっていないのもな

傷の男？
外れない枷？
お前は本当にそれに『興味』があったのか？
ど、どういう意味だよ

お前はただ自分に『目的』ができた事に喜んでたんじゃねぇのかって言ってんだよ
それを長続きさせる為にただ脱獄を繰り返してただけだろ

そんなヤツってのはなちょっとしたキッカケや目的が見つかるだけで生き生きしちまうのさ
欲の無い人間なんてただ時間を無駄にしてるだけだ
ふ…

ふざけんじゃねぇ!!
俺が『嗅つぎ』であ男を追いかけてたっていうのかよ!!
違う
違う
追いかけてどうする


その自己満足の為だけにここまで来たんだろ?
絶対
これはお前が半端な事をし続けた結果だってこともお前は気づいていない
そしてその枷の実態を知り、隠すことで自分を偽ってきた
もう自己満足の範囲を超えちまったんだよ
そんな…こと
事が起きてからじゃおせぇんだぞ

…な…こと…
そんなこと…

そんなこと俺が一番わかってる!!

全部その通り…

全部事実

だって俺にはこれしかなかったんだ…

俺は物心ついた時から何かを欲しがったことなんて一度もなかった

だから正直大会なんて本当はなんの興味もなかった

努力して達成したいこととか勝つことで見えるなにかにも一切何の興味も湧かない

自分がいかにつまらない人間だってことぐらい嫌というほどわかってる

この枷を付けられたときほんとに初めて自分の意思で俺は初めて

なにかを成し遂げようと思った

あの姿になるまでは

でも

気付いたんだ…

あいつらと一緒にいて…

今になって自分が何をしてきたか

本当の生きがいも趣味も目的も

俺よりもハッキリ持っていたから

自分という存在がどんなモノなのか

特技があって

趣味があって

好物があって

俺にないものを沢山持ってるあいつらが

羨ましくて…でも楽しくて……

今まで灰色だった自分の世界が

色鮮やかで輝いて見えた

ただ単純に楽しかったんだ

あの空間が

それだけで全て満たされた気分だった

でもそう思えば思うほどコイツの存在が大きくなってくる

あの姿を思い出す

一度は忘れていたこの存在

あの姿を見られたら俺はもう今までどおりの毎日は送れない…

繰り返して繰り返してここまできたのに

またムサシの時みたいに傷つけるかもしれない

今になって後悔が止まらない

早く外さないと早く見つけないとって焦って

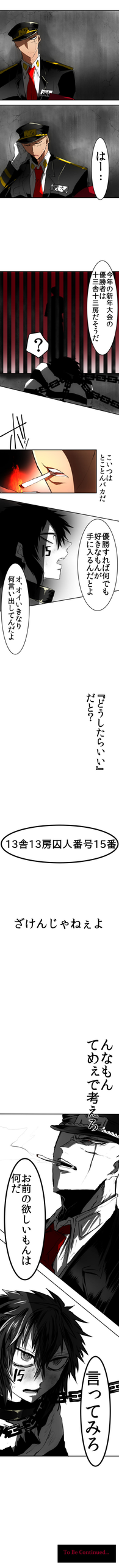
今思ったらもう、もう逃げられてるわかんないでいたら
自分自身を
あの大会で
また
中途半端な自分の覚悟と
俺は取り返しのつかないことをしただ
過去の過ちを見て見ぬフリをした卑怯な自分が許せない
だから俺はもう何もしないって決めて流れに身をまかせて今まで過ごしてきたんだ
こんなもの外れないくたってもうどうでもいいんだ
これは
ムサシが言ったように主人公はお前だったんだ
自分のことしか考えてなかった俺への戒めなんだ
バカか
バカか
なんで俺ばっかりこまめまでなんかこっちが来たんだろうが
なぜお前の言葉がこんなにもこんなにもかすやすやしたことなんだ
ふう
オイ 15番
15
そりゃ、逃げれば自由だ
逃げたって何も変わらねえんだよ
何でそんなに捨てちまえば楽になれるからな
逃げられずにいても許されてるのかって
甘えてんじゃねえよ
15
俺はもうあきらめてるんだ
だから放っておいてくれ
ガキの面倒見るのはもうごめんだ
ただ逃げることに何のイミがある
15番
お前は何でここに来たの？
なんでっ？

俺がここに来た理由‥？

俺はどうしてここにいる…？

わからないまま

ゴン
ゴン
ゴン


はー…
今年の新年大会の優勝者は十三舎十三房だそうだ
?
こいつはとことんバカだ
優勝すれば何でも好きなもんが手に入るんだとよ
オ、オイ、いきなり何言い出してんだよ
『どうしたらいい』だと?
13舎13房囚人番号15番
ざけんじゃねぇよ
んなもんてめぇで考えろ
お前の欲しいもんは何だ
言ってみろ
To Be Continued...